

＜統計検定に挑戦しました＞

11/18(日)に統計検定(日本統計学会公認)が全国各地で行われ本校から中学生(1年)が4級、高校生(1年)が3級にチャレンジしました。仕事や研究をするための21世紀型スキルとして国際社会で広く使われる能力で、理数先行で本年度から実施されている新学習指導要領の数学で新たに追加された分野でもあります。

- 3級合格者 中澤佳成子、中村俊貴、清水真暉、瀬下大貴、原田彩花、市ノ瀬弘祐
小林永知、坂口美乃里、竹内妃奈、藤井かりん、堀口恵莉菜、峯村希
山本樹、湯原萌、吉原真生(以上15名)
- 4級合格者 山岸達希(以上1名)

＜SSH 米国海外研修報告＞2学年希望・選抜者

12/9(Sun)～12/14(Fri)(4泊6日)の日程で米国カリフォルニア州サンフランシスコ市郊外を訪れて、様々な研修や体験学習をしてきました。今回は参加した生徒8名が、現地で書き綴った日記より抜粋して以下、報告をします。

参加生徒 普通科 塚田雄祐(2組)、岡村武征(3組)、森柁人(6組)
理数科 内田百岳、菅沼柚希、高城祐介、西澤卓海、柳澤優月

12/9(Sun) (以下現地日時にて表示、日本との時差は-17時間)

雪の舞う中、新幹線あさまで長野駅でまず5人が乗車し上田駅、佐久平駅、軽井沢駅を経て全員が遅刻、欠席無く揃った。パスポート、飛行機の搭乗券を再度確認してみんなOK!。なぜかおなかがすいて昼前には持参していた昼食を消化した。上野駅で新幹線を降り、京成スカイライナーに乗り換え、約40分で成田国際空港に着いた。手荷物検査、出国審査などを空港で行った。ほとんどの人が初めての国際線だったせいか、拳動不審で検査に引っかかる人が複数いた。また、搭乗手続きでも引っかかり、なかなか飛行機内に入れられない人も若干1名いた。出発時刻ギリギリで飛行機のシートに全員揃い、サンフランシスコへと飛び立った。

機内では、本を読んだり、音楽を聴いたり、機内食を食べたりしながら、長旅を突破した。約9時間のフライトの後サンフランシスコ国際空港に到着。入国審査は全員が無事に通過した。現地ガイドのクラッツアーさんと運転手さんと挨拶を交わし、20人乗りの専用バスに乗り込んだ。道中、ガイドさんのアメリカに関する様々なお話を聞きながら、現地の風景を楽しんだ。HOMETOWN BUFFETという店でバイキング形式の昼食をとった。初めてのアメリカでの食事で慣れないせいか、食べてはお互い顔を見合わせた。その後はガソリン補給の間に近くのコンビニへ。初めてアメリカのお金でジュースなどの買い物をした。天気は良好、気温も長野よりは暖かかった。



約4時間の移動後、ヨセミテ国立公園に到着。バスに乗ってガイドさんの解説を聞きつつ時々バスを降り観光名所でもあるエル・キャピタン(高さ1km以上ある世界一大きい一枚岩)、ヨセミテ滝(落差739mの3段の滝)、ハーフトーム(氷河で半分削り取られたドーム型の岩)などを観察。トンネルビュー(ヨセミテ1位人気の展望台)にて記念撮影。駐車場では野生のシカ

に遭遇した。

いったん公園を出て宿泊場所の YOSEMITE VIEW LODGE に向かった。ホテルのレストランで夕食。日本ではなかなか見ないサイズのステーキなどボリューム満点だった。夕食後はミーティングでこれまでのまとめと明日の確認をした。その後、学校へ送るメールの準備をした。メールがなかなか繋がらず時間がかかってしまった。部屋に戻り就寝。大移動で疲れていたため、すぐに眠ってしまった。

12/10(Mon)

朝 7時から朝食。…のはずがホテル側の事情で 15分ほど遅れる。メニューはパンケーキにベーコン、スクランブルエッグなどで、全体的に量が多かった。

本日は公園内で1日研修。8時にホテルを出発して間もなくヨセミテフォールに虹がかかっているのを発見し朝からハイテンションになった。午前中は公園内の研修施設でナチュラリスト(公園を訪れる人に自然について解説する人)の Kara Stella さんからヨセミテの歴史や現状についての講義を受けた。自然保護とビジネスのバランスを取っていくことの難しさを学習した。



昼食はホテル内のフードコートで。ハンバーガーを注文して“Hotdog?”と聞き返されたり、注文していないポテトが出て来たり、またまた口に合わないものがあった。研究用の機材を置き忘れるなどのハプニングがあったもののすぐに気付いて事なきを得た。

午後は Kara さんのガイドのもとフィールドワークへ出かけた。昨日バスで立ち寄ったヨセミテ滝を中心に、歩きながら地形の歴史や構成などを学んだ。川では水を採取した。同時に気温、水温、高度、紫外線量、放射線量などを調査して記録した。Kara さんが用意してくれた絵のカードを並び替えて、ヨセミテの成り立ちを確認。最後にみんなで記念撮影をして、手話のヨセミテを教わって別れた。



その後、先住民(インディアン)の博物館などを見学し、バスで YOSEMITE VIEW LODGE に戻る。ホテルのレストランで夕食。メニューはサラダ(生にんじん入り)、チキン、ハッシュポテトなど。アメリカの食事にも少しずつ慣れてきた。ミーティングを終え、この日もメールで学校に連絡をした。昨日の経験があるのでスムーズに済ませることができた。

12/11(Tue)

朝起きて、YOSEMITE VIEW LODGE の裏、merced river にて水を採取した。朝食では昨日の朝食が遅れたお詫びとしてオレンジジュースが出された。メニューはトースト、ベーコン、ソーセージ、卵、ポテトが出た。

8時の集合時間に2名が1分遅刻してペナルティーが科せられた。YOSEMITE VIEW LODGE を後にし、サンフランシスコへ移動。道中、Merced Fruit Barn にてトイレ休憩をし、また特産品であるナッツや、果物などを購入した。移動中に食べたブドウがとてもおいしかった。YOSEMITE を出て約4時間、スタンフォード大学に到着し、カフェテリアで大学生気分を味わった。英語で頼むことに不慣れで、頼んだものと違うものが出てきた人もいた。昨年研修を受け

た山本教授が不在のため、施設見学をした。大学内には宗派や国籍を問わない教会がありそこで記念撮影をした。敷地がとても広く、大学生は自転車で移動をしていた。スケートボードの人はいかしていた！



次に行ったのはアカデミー・オブ・サイエンスという博物館。1Fを全員で回

り、プラネタリウムで約30分地震に関する映像を見た。東日本大震災や津波についての説明もあり米国の公共の映像で日本が出てくるとは思わなかったのでも驚いた。解説の英語は厳しかった。

その後、閉館まで熱帯雨林、水族館など世界の貴重な生き物を自由に見学した。人気のある白いワニや赤い目をしたカエルを見ることができた。

この日から泊まるホテルはCivic Centerだった。移動中に見たサンフランシスコ市役所のイルミネーションがクリスマスに飾られ綺麗だった。到着後、ホテル内のレストランで夕食をとった。メニューはサラダ、パスタ、ケーキなど初日に比べれば軽くなった。ホテル内はインターネットが無料で使えミーティング後、すぐに学校へメールした。

12/12(Wed)

朝食はバイキング形式で2名が寝坊してペナルティーが科せられた。8時にバスで移動し、9時にリッチモンド市のDe Anza High Schoolに到着した。駐車場や入口には警備員が立っていた。校舎内の図書館へ行きそこで現地で日本語を学んでいるShimada clubの7人と合流した。軽〜く自己紹介をし、その後、生物教室や化学教室を見学した。化学教室では雑談や日本の歌を歌って緊張をほぐした。8人を4人ずつの2班に分け、英語や芸術などの授業を見学・参加した。

英語（現地の第二外国語）の授業では、自国の紹介をプレゼンしながらイランやインドのことを学習していた。突然「ネットを使って日本の高校を紹介して下さい」と言われたので、戸惑いながらも協力して屋代高校を紹介した。



芸術の授業では技術や美術などを体験した。教室内で実際の大きさの家を建てていて驚いた。技術は遠近法を作画していたのでいっしょにチャレンジした。美術は絵の具で漢字やカタカナの文字を書いて指導した。体験を通してたくさんの会話や交流ができた。

お昼は図書館に戻り、中華料理のバイキングをその高校生たちと共に食べた。気が付くと呼びかけで30名ほどの生徒が集まっていた。食事しながら会話や記念撮影をした。高校生との交流があったことで、英語での会話がスムーズに行えるようになった気がする。

た気がする。

移動の途中でトイレ休憩した。折角なのでと公立大学での名門カリフォルニア大学バークレー校に立ち寄った。スタンフォード大学とは敷地こそ比較にならないが、シリコンバレーに近いせいか人が多く活気に溢れていた。



続いては、NASA エイムズビジターセンターに行った。当館スタッフのDodgeさんから、現在ミッションが行われている火星探査機“Curiosity”についての講義を受けた。火星着陸7秒前という映像は迫力がありドキドキした。NASA 及びエイムズ研究センターの歴史や“Curiosity”の説明、ミッションの状況などについて講義を受けた後、質疑応答をした。とてもいい質問ができた。ビジターセンター内の展示をDodge氏に解説してもらいながら見学した。実際に宇宙へ持って行った装置や、月の石の展示もあった。



Intel museumでは、Intelの歴史と技術を体験型の展示を通して学んだ。ここでは当館スタッフのJoyさんから丁寧に説明を受けた。コンピュータの歴史を作り出した初期のパソコンや大きなシリコンの現物などが展示してあった。ゲーム感覚で楽しめる博物館になっていた。これが最後の研修場所となったが、お礼も英語でしっかりできるようにになっていた。

夕飯を済ませてから宿泊場所のCivic Centerへ戻った。部屋にみんな集まって学校への最後のメールを作成して送った。

12/13(Thu)

この日の朝食もバイキングだった。学習機能はあるようで全員が定刻前に揃った。自分たちでチェックアウトをして8時15分には宿泊ホテルを出た。サンフランシスコ国際空港に到着して、ガイドのクラッツアーさんと運転手さんにお礼の挨拶をした。挨拶は道中心配をかけたパネルティー者が気持ちを込めて伝えた。

帰りの出国手続きは再び緊張した。荷物の重さが制限を越えていたり、ボディー検査は靴まで脱がされた。でも今回は、誰も検査に引っかかることなく出国できた。帰りの飛行機ではさすがにみんな疲れていた。写真やデータの整理をする人、勉強する人、そしてひたすら熟睡する人、機内食を楽しみにしている人、放心状態の人、様々だった。

12/14(Fri) (日付変更線通過)

午後3時45分に成田空港に到着。入国審査はみんなスムーズに通過できた。スカイライナーや新幹線を乗り継ぎ、行き乗車順に降りた。旅行が終わること、みんなと別れること。寂しさを感じた。ヨセミテ公園で教わった手話を伝えながら解散した。それぞれ無事に帰宅できた。

今回の研修を通して、普段の生活では絶対にできないような経験ができ、充実した4泊6日となった。いつか自分の力でこのような旅に行きたいと思った。

最後に、引率してくれた清水先生、近藤先生、激励していただいた校長先生をはじめとする屋代高校の先生方、アメリカでお世話になった方々、家族や友達に感謝します。最後の写真はアカデミー・オブ・サイエンスで出会ったトナカイです。(Merry X'mas)

